

## 【粕川の1コマ】地区を代表する景観構成要素



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



## ふるさと自慢〔住む人の声〕

### 歴史

養蚕業から園芸・大豆へ

### 音風景

野鳥のさえずり、赤城おろしの風音  
小川のせせらぎ

### 風の軸

赤城おろしの北の風

### 赤城山麓

標高差 1,300m  
不動大滝（落差 50m）  
南麓に広がる水田地帯

### 野生

野生生物の生息空間

## 地区の課題

### 景観にかかる課題1

勾配の強い地区北部はクリ・ミズナラ、スギ・ヒノキなどからなる山林地、勾配の緩くなる地区中部はクヌギ・コナラなどの雑木林と畑・牧草地・棚田が広がる農村地域、地区南部は条件のよい広大な水田・畑が展開する農村地域となっている。近年は農地転用の増加や無秩序な宅地開発、工業団地造成などにより、自然環境の保全や都市的土地利用と農地の調和が難しくなっている。

### 景観にかかる課題2

不動大滝、忠治の岩屋、胎内くぐり、滝沢不動堂、乙女の滝、大猿公園など自然の地域資源が揃っているが、地域の景観づくりにうまく生かされていない。

### 景観にかかる課題3

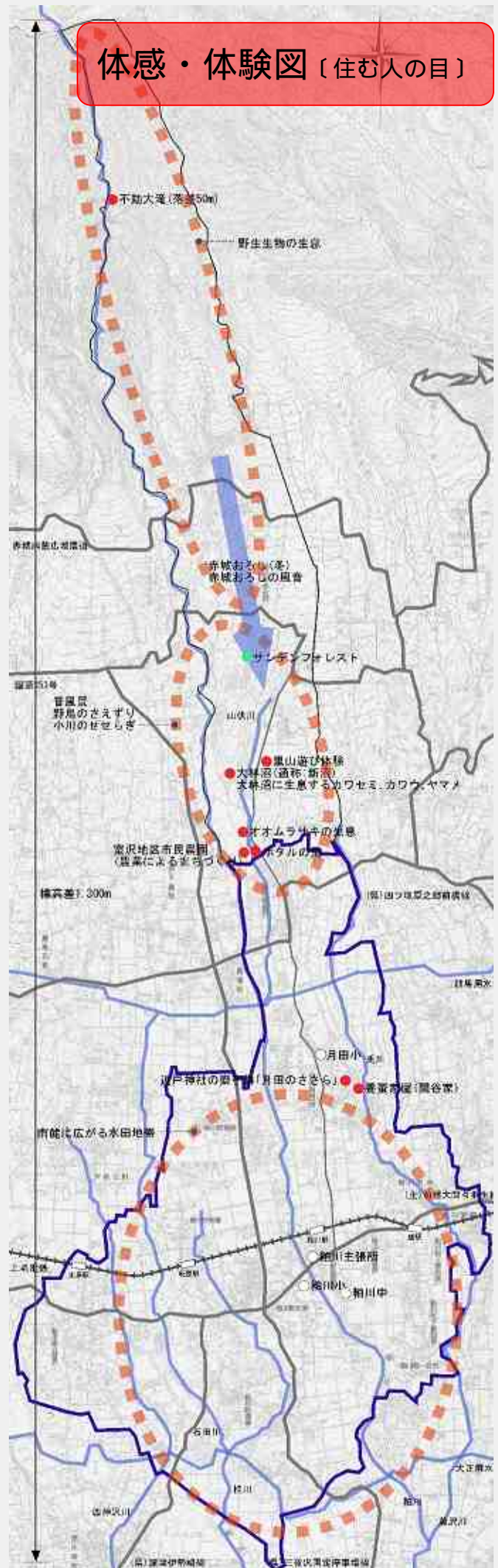
旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代と連続した時代を生きた住居跡や古墳群が集中している。また膳城跡、女洲城跡、一日山城跡、中村城跡、深津館跡、室沢砦跡など、戦国期の古城跡も散在しており、これらは地区の特徴ある歴史的資源となっているが、修景やネットワーク化など景観面からの取り組みが十分でない。

### 体制にかかる課題1

近戸神社の獅子舞「月田のささら」、女洲の太々神楽、込戸の式三番叟などの伝統芸能が地域住民によって積極的に受け継がれており、この結束力を地域の景観づくりにも広げていけるような取り組みが求められる。



体感・体験図〔住む人の目〕



人  
農業を中心とした生活

祭  
近戸神社の獅子舞「月田のささら」

人の動き  
農業によるまちづくりを行なうため、豆腐づくりや市民農園が思想的に行なわれている。

拓く  
豊かな自然を大切にしているが、同時に利便性の向上を願っている

地形  
赤城山頂から中腹に位置し、北部は自然形態及び動植物の生息分布が集落地域と大きく異なる

→ 地区の方針

景観形成方針 1

地区北部の豊かな広葉樹からなる山林においては、民有林の分譲による別荘地開発などの際にも、良好な土地利用と適正な維持管理がなされるよう配慮する。

景観形成方針 2

赤城山の中腹から見下ろす、粕川の流れとため池と田園集落からなる眺めを守る。

景観形成方針 3

工業団地は、建物デザインへの配慮と緑化など、周辺環境と調和した環境整備に取り組む。

景観形成方針 4

不動大滝などの自然の地域資源は、周辺区域も含めた修景などを行い、地域の景観づくりに寄与する資源にしていく。

景観形成方針 5

古墳群と古城跡の集中は、この地域のもつ突出した特徴であり、共通項をもった修景を行うとともに、ネットワーク化し空間的つながりを持たせる。

景観形成方針 6

国道 353 号、(主)前橋大間々桐生線、(県)三夜沢国定停車場線、(主)上神梅大胡線などの道路の沿道は、周辺環境となじむよう、建物や広告看板類の誘導に取り組む。

体制整備方針 1

近戸神社の獅子舞など伝統芸能への取り組みが盛んであり、これらが地域の景観づくりにも生かされるよう、勉強会などの要請があれば、積極的に支援する。